

卒業論文の要旨

論文題目	認識的モダリティとしての未来表現を巡る「未来時標識」と「モダリティ表現」の性質に関する一考察
氏名	長谷川 悠弥
メジャー	言語学
(要旨) 本論文は、英語学の枠組みの中で、話者の心的態度の現れであるモダリティについて分析する。その中でも、ある命題に対する話者の推量を示す認識的モダリティとして表出する未来に関する表現を、それそのものが未来時の「標識」として機能しているように観察される「未来時標識」としての側面と話者の心的態度の現れと考えられる「モダリティ表現」としての側面から分析している。そして、現実的には未確定の事象である時間的未来が言語内でどのように扱われているのかを考察し、論全体を通して、未来が話者の心的態度の範疇にあり、可能性の世界（可能世界）のものであることを示している。	
(指導教員の推薦のコメント) 着眼点が純粹なる英語学の枠組の中でも、学部レベルでは珍しく専門性の高い考察を重ねており、先行研究についても日英語の専門性の高い著書・論文を参考にしている点で優秀であると判断される。	